

◆行ってみたかった！図書館見学レポート◆

北里大学白金図書館を見学して

青木美由紀

2019年7月26日に行われた日赤図書室協議会研修会で北里大学白金図書館等を見学させていただいた。今回は公開講座のため、外部の方々も含め50人弱で3班に分かれての見学ツアーであった。本稿では写真を中心にキャンパス内の3施設を紹介する。

I. 【北里大学白金図書館】

1914年北里柴三郎により北里研究所が創立され、研究所図書室も設立。1962年北里大学設立時に研究所図書室の資料が大学へと寄付される。北里大学図書館を設立し、後に白金図書館へと名称を改めた。2019年5月、ソフィアプラザに面した新たな施設へと移転。

18万冊もの蔵書と各種の電子ジャーナル、そして快適な学習環境を提供するとともに優れた設備だった。



図1 北里大学白金図書館入口

白い螺旋階段がアクセントとなっている空間。



図2 入退館ゲート

シンプルでスタイリッシュなデザイン。

AOKI Miyuki

那須赤十字病院 診療支援課

TEL：0287-23-1122(代)

FAX：0287-24-0717(医学図書室)

tosho@nasu.jrc.or.jp



図3 アクティブラーニングスペース

声を出してのグループ討論やプレゼン練習等をするのに最適なスペース。

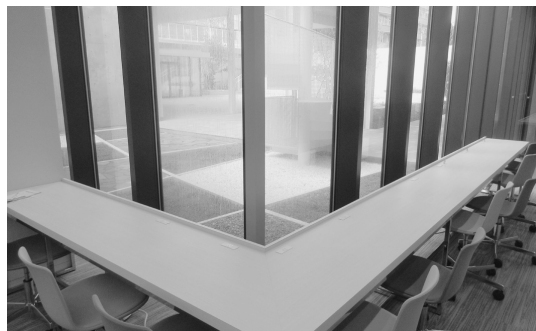


図6 学習スペース1

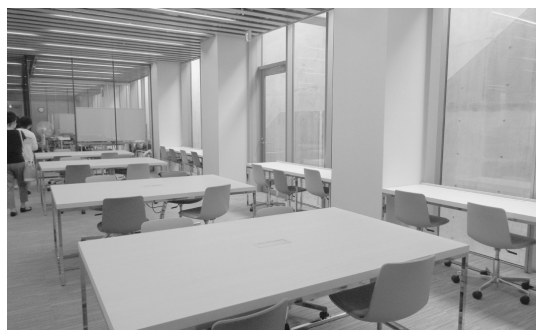


図7 学習スペース2

利用者のニーズに合わせた特徴的なスペースと、スペイン製の長時間座っていても疲れにくい椅子が用意されている。



図4 蔵書

医療、自然科学系分野の資料が中心となっている。



図5 書棚

耐震に力を入れており、長めのボルトで棚の上下を固定している。

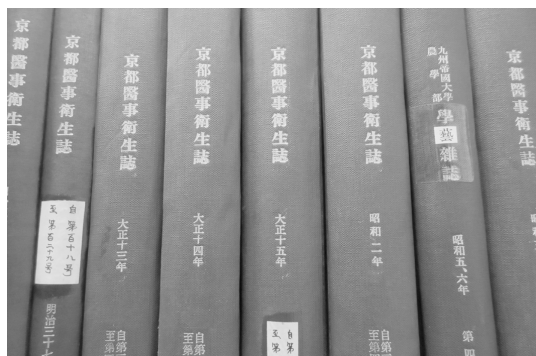


図8 貴重雑誌書架

北里研究所時代の資料を受け継いでおり、1800年代の希少な雑誌も多数所蔵している。



図9 教職員おすすめ図書

白金キャンパスの先生方がお薦めする図書で学術書、ビジネス書、実用書などバラエティー豊かな図書が紹介されている。

II. 【東洋医学総合研究所】

1972年に日本で最初の漢方医学の総合的な研究機関として設立。漢方鍼灸治療センターや東洋医学に関する展示物も置かれている。

東洋医学が身近に感じられ、「漢方の歴史を知りたい」という人にはぜひ訪れてほしい施設であった。



図10 書籍書庫

電動式移動棚が動くとき快適な音楽が流れる♪(メリーさんの羊)



図11 生薬標本・鍼灸資料

色とりどりの石、動物の剥製、植物の実などが展示されている。見学メンバーも興味津々！

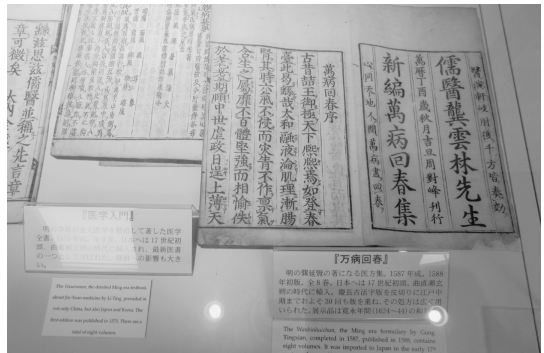


図12 資料展示室

東洋医学による貴重な資料を展示。中国三千年、日本千五百年にわたる江戸時代までの漢方の歴史などを、写真入りのパネルを使ってわかりやすく解説している。

III. 【北里柴三郎記念館】

日本近代医学の父、北里柴三郎の研究の歩みを学べる記念館。偉業を讃え、学術研究論文や公的活動に関連した資料、恩師、恩人、門下生等、関係者の資料等を紹介している。

展示室は撮影禁止のため掲載写真は無いが、柴三郎の直筆の手紙や愛用していた顕微鏡などが展示されており、2024年を目途に千円札

の新しい顔となる柴三郎の思いに触れられたように感じられた。



図13 北里柴三郎の胸像

1894年ペスト菌発見の功績により贈られた。

普段はなかなか目にすることのできない貴重な資料も閲覧させていただき、充実した時間を過ごすことができた。

案内していただいた職員の方々のお話は興味深いものばかりで、建設されるにあたってのご苦勞も窺え、北里にかける情熱が感じられた。

最後に、このような機会をあたえてくださいました図書館、研究所、記念館の方々に心より感謝申し上げます。